

記入例1 小学校4年男子
不安が強く、気持ちが不安定になりやすい。
自分からの表出場面が少ない。

全て埋める必要はありません。六区分に照らして見ることで、子供の言動(姿)だけではなく、その要因を多面的・分析的に捉えることにつながります。

自立活動の指導目標・指導内容シート

発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などについての情報収集

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

生活や学習において、本人が特に困っていることを書いてみましょう。

実態把握

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	見通しがもてないと、不安になって泣いたり声を出したりする。		場所が変わっても、落ち着いて活動できるようになってきた。		

子供の困難さが軽くなった姿(目指す姿)を想定します。

実態把握を基に、優先して指導する目標を一つ・二つ決めます。(一年後の姿) その際、本人や保護者の願いを聞きながら在籍学級担任と共通理解することが大切です。

いくつかの指導目標の中で優先する目標として

指導目標

- ・活動の流れを把握し、見通しを持った活動を行うことができる。
- ・他者に必要な事を自分から要求することができる。

指導目標を達成するために必要な項目の選定

項目を選んで色を塗ります。中核となる目標について○をつけます。

選定した項目

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本技能	①コミュニケーションの基礎的能力
②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性への対応	②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	②言語の受容と表出
③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
⑤健康状態の維持・改善			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

指導目標を達成するために、「選定した項目」を相互に関連づけます。そして適切な指導内容を具体的に考え工夫していきましょう。

信頼できる相手とのかかわりで「できた」という成就感を味わいたいな。

具体的な指導内容

活動の見通しを持つための場の設定(絵カードを活動の順番に並べる)

事前に言葉の型を示し、教師とのやりとりで要求したり、応じたりすることができる。

学習指導要領には具体的な指導内容を設定する際の配慮点として

- ア 主体的に取り組む指導内容
- イ 改善・克服の意欲を喚起する指導内容
- ウ 発達の遅れている側面を更に伸ばすような指導内容
- エ 自ら環境と関わり合う指導内容
- オ 自ら環境を整える指導内容
- カ 自己選択・自己決定を促す指導内容

が示されています。(解説書P.111~)



子供の障害の状態、興味・関心、学習課題などを基に、教材を選びます。

教材・教具の選定	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎食べたり、飲んだりすること（興味関心） ○調理活動（好きなこと・お手伝い） ○細かい作業（得意なこと） ○読み聞かせ（家庭で取り組んでいること）
----------	---

興味・関心を中心に、好きなものや得意なこと・夢中なこと、家庭で取り組んでいることなど、具体的に考えます。すぐに活用できそうなものを選んで◎、活用できるかもしれないものを選んで○つけておきます。

食べたり飲んだりすることと調理活動を組み合わせさせてみよう。心理的に安定してとりくめそうかな？

単元の計画

自立活動指導計画	「単元名」（時間）	「〇〇カフェで注文しよう」（5時間）
	・単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ランチョンマットや飲み物、急須や湯飲み、カップ、お菓子等から、自分が欲しい物を要求することができる。
	・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教師とのロールプレイングを行う。 ・活動を繰り返し、やりとりを深める（順番の交代） ・前時までに提示されたことのない初めての物の中から、要求すること。
	・指導方法 ◆教材・教具 ◆配慮事項 など	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲み物などを選んで要求するお茶会の場の設定 ・カフェのセットは本児の手に届かず、他者に頼めば手に入れることができる場所に準備しておき、教師に頼むようにする。 ・要求モデル演示を通した、要求の仕方の提示。 ・お茶会に集中できる空間の設定。

単元終了後に目指す姿を定めます。

目標を達成するためのスモールステップを考え、指導内容を設定します。

子供の障害特性等の実態や集中力、興味関心を基に教材を工夫したり必要な支援を考えたりします。

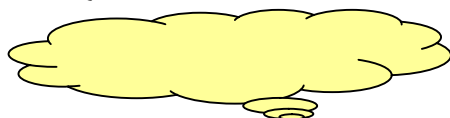
自立活動の指導の単元を実施し、評価規準（計画的に定めた具体的な姿、数値等）を基に達成できたどうか判断し、評価してみましょう。

指導の評価

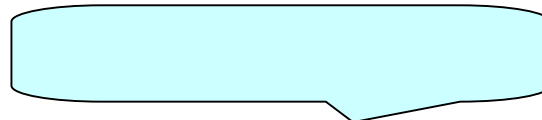
指導の評価	評価の観点	成果と課題	改善点
	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の目標 ・指導方法 	<p>例</p> <p>○相手の目を見て、自分が欲しい物を伝えることができるようになった。</p> <p>▲空間が広がってしまうと、集中が続かない場合もあった。</p> <p>▲欲しい物が複数ある場合は、気持ちが高ぶってしまうこともあった。</p>	<p>※声の大きさやトーンを考えて、相手に伝わりやすいように要求することを次の目標にする。</p> <p>※教師との1対1からステップアップし、集団の人数を増やした中で、要求をする機会を設定する。</p> <p>※日常の生活場面でも要求ができるように、家庭との連携を図る。</p>

改善が必要な場合は「指導方法」についても積極的に見直します。

表示について



教師の思い



指導に役立つポイント

シートを使って、実際に担当する児童生徒の指導目標・内容を定めてみましょう。 目標・内容シート（書込用）